



地域再生 協議会だより

百合が丘2-29-6 (老人憩いの家) 59-9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

1-3月に10講座

「もっと一色」「空き家」盛況続く

9月から始まった連続講座の来年1-3月の内容が固まった。学校連携部会（山本正博部会長）が主催する「もっと知ろう一色・二宮」は3月までに6講座、国交省支援事業の「住まいの利用・活用」は4講座をそれぞれ一色小、百合が丘児童館で開く。中でも「もっと一」は開始以来満席状態が続いており、同部会では来年4月からの新企画の検討を急ぐ。

「もっと一」は町広報、掲示板を使って参加を呼び掛けていることから、参加者は全町に及ぶ。来年1-3月も一色、オール二宮のテーマを織り交ぜ、月2ペースで開催する。

一方の「住まいの利用・活用講座」は、協議会が国交省事業（100%補助）を直接受ける形でスタート。「空き家にしない、人と住まいの生涯学習」をキャッチフレーズに年内に5講座を開催。1-3月はリノベーションの事例紹介、相続対策、省エネ・断熱のワークショップなどを準備中だ。31年度には専門部会を新設し、国交省事業の継続確保を目指す。



やまゆり里山音楽祭 響く70人のハーモニー

11月4日（日）のやまゆり里山音楽祭は、大いなる盛り上がりの中で閉幕した。あいにくの空模様にもかかわらず、リハーサルが終わると同時に開場待ちの列ができた。今年は協議会の広報映像を止め、代わりに部会長による活動紹介を行った。高寺真美・岩崎千恵さんによるピアノ連弾に始まり、桑田葉子さん、一石洋子さんの独唱。白井英治氏のバイオリン、ふたりのソロボーカル、ユースクラシックのポピュラーメドレーと続き、最後はやまゆり合唱団が登場。70人超からなるハレルヤコーラスは一色小の体育館を揺るがし、練習を重ねてきた迫力あるハーモニーには盛大な拍手が送られた。（関連は裏面）

音楽活動部会 に名称変更

文化イベント振興部会（三浦憲門部会長）は11月4日のやまゆり里山音楽祭の終了に伴い、今年度事業の大きなヤマを越えた。同部会は音楽イベント開催とやまゆり合唱団の運営が事業の柱。合唱団は今年、県公社主催の音楽祭、一色小音楽会、町主催の合唱祭などすでに4回の発表の場に登場している。この後、来年1月5日（土）のニューイヤークンサートにも希望者が参加することが決まっており、約40人が出演する見込み。同部会は31年度からさらに音楽事業を深掘りする狙いから音楽活動部会への名称変更が決まっており、近く新年度事業の検討に入る予定だ。

以下に、やまゆり里山音楽祭の主要場면을掲載する。



白井、一石、桑田さんの浜辺の歌



ユースクラシックの5曲メドレー



5人の部会長も登場した



演奏終了後の懇親会

<当面のイベントスケジュール>

- 12/1(土) 岸田壮史氏（建築家・設計士）「住まいを快適に長持ちさせるリフォーム」
- 同 島崎直人氏（郷土史家、文化財保護委員）「一色の歴史と文化遺産」
- 12/11(火) 竹内昌義氏（東北芸術工科大教授）「住み続けるためのリノベーション」
- 12/22(土) 斎木邦弘氏（二宮野鳥の会顧問） 「渡り鳥の越冬地二宮」
- 31年1/12(土) 石井敬士氏（元県立図書館調査部長）「二宮ゆかりの文化人」
- 1/20日(日) 加賀谷幸子氏 「健康的で心地よい住まいのリノベーション・事例紹介」
- 1/26(土) 戦時下の二宮を記録する会 「二宮の洞窟陣地」
- 1/27日(日) 高橋 大樹氏（プロサーチ副社長）「空き家トラブルを防ぐ相続対策」
- 2/2(土) 岡村昭寿氏（再生協議会会長）「百合が丘ニュータウン開発史」
- 2/16(土) 中山史奈子さん（町生涯学習課・文化財担当）「写真と映像でたどる昭和の二宮」
- 3/2(土) 松本岩太郎氏（GNP） 「二宮の石仏」
- 3/16(土) 橘川卓司氏（町文化財保護委員） 「一色のいま・むかし」